

平成27年度G空間関係予算概算要求状況（衛星測位）

平成27年度(10府省庁29施策)	概算要求額： 15,119百万円（施策単位で額を確認できるものについて集計。交付金等を除く）
平成26年度(10府省庁34施策)	政府予算額： 13,883百万円（施策単位で額を確認できるものについて集計。交付金等を除く）

※十万円の位（少数点第一位）を四捨五入している関係で、各欄計数の和と総計が一致しないところがある。

内閣府 2施策		平成27年度概算要求額 13,742百万円	
施策名	施策の概要	平成26年度 当初予算額 （百万円）	平成27年度 概算要求額 （百万円）
実用準天頂衛星システムの整備の推進等に係る経費	「実用準天頂衛星システム事業の推進の基本的な考え方」（平成23年9月30日閣議決定）において、準天頂衛星システムは、産業の国際競争力強化、産業・生活・行政の高度化・効率化、アジア太平洋地域への貢献と我が国プレゼンスの向上、日米協力の強化及び災害対応能力の向上等広義の安全保障に資するものであり、我が国として、実用準天頂衛星システムの整備に可及的速やかに取り組むこととする、とされたことを踏まえ、測位衛星の補完機能（測位可能時間の拡大）及び測位の精度や信頼性を向上させる補強機能等を有する準天頂衛星システムを開発・整備・運用する。	12,499	13,668
宇宙インフラシステムの海外戦略策定調査	宇宙インフラシステムの海外展開を図るため、新興国等について国別の総合的パッケージを検討するとともに、現地における状況調査やセミナー開催等を行う。	25	74
省庁計		12,524	13,742
施策数		2	2

警察庁 4施策		平成27年度概算要求額 ー	
施策名	施策の概要	平成26年度 当初予算額 （百万円）	平成27年度 概算要求額 （百万円）
110番通報における位置情報通知システムの運用	衛星測位を用いた携帯電話からの110番通報における位置情報通知システムを運用する。	511の内数	938の内数
捜査員の位置情報の把握への衛星測位の活用	捜査員の位置の把握に衛星測位を利用する。	維持経費等の予算措置	維持経費等の予算措置
地域警察官の位置情報の把握への衛星測位の利用	地域警察官の位置の把握に衛星測位を利用する。	449の内数	1,015の内数
大規模災害時等における政府の危機管理体制の強化	ヘリコプターや広域緊急援助隊の位置の把握に衛星測位を利用する。	維持経費等の予算措置	維持経費等の予算措置
省庁計		ー	ー
施策数		4	4

総務省 5施策		平成27年度概算要求額 137百万円	
施策名	施策の概要	平成26年度 当初予算額 （百万円）	平成27年度 概算要求額 （百万円）
準天頂衛星時刻管理系設備の運用に必要な経費	平成23年度まで総務省が研究開発に取り組んだ準天頂衛星初号機「みちびき」システムの時刻管理系設備について、引き続き運用を行う。	77	64
安全安心・国民生活の利便性向上のための時空標準技術の研究開発	（独）情報通信研究機構（NICT）は、セシウム原子時計等を用いて日本標準時の決定、維持を行い、日本標準時を固定回線等ネットワークを利用して必要な事業者等へ供給。 また、日本標準時の精度と信頼性、耐災害性の向上のため、現在東京にしかない日本標準時発生機能を分散させるべく、分散管理・供給手法の研究開発を行うほか、VLBI（超長基線電波干渉法）技術による時刻比較や次世代光・時空標準技術に関する研究開発を行う。	独立行政法人情報通信研究機構運営費交付金（28,071）の内数	独立行政法人情報通信研究機構運営費交付金（27,653）の内数
携帯電話からの119番通報における発信位置情報通知システムの導入促進	衛星測位を用いた携帯電話からの119番通報における発信位置情報通知システムの導入促進を図る。	消防防災施設整備費補助金（1,619）の内数	消防防災施設整備費補助金1,620の内数
緊急消防援助隊動態情報システムの運用	大規模災害等発生時において、緊急消防援助隊が出動した場合にその動態情報を把握するシステムを適切に運用する。	79	48
ヘリコプター動態管理システム整備	ヘリコプター位置情報をイリジウム衛星通信にて地上で把握し、広域応援時にヘリコプターの運用調整に活用する。	35	25
省庁計		191	137
施策数		5	5

外務省 2施策		平成27年度概算要求額 百万円	
施 策 名	施 策 の 概 要	平成26年度 当初予算額 (百万円)	平成27年度 概算要求額 (百万円)
日米GPS全体会合	1998年の日米首脳声明に従い定期的に開催されるGPSの利用に関する重要事項を検討・討議するための会合を開催する。	1	0.3
国際衛星航法システム（GNSS）に関する国際委員会（ICG）及びGNSSシステムプロバイダーフォーラムへの参画	国連宇宙空間平和利用委員会（COPUOS）において設立された衛星航法システムに関する国際委員会（ICG）及びGNSSシステムプロバイダーフォーラムに引き続き参加するとともに、米国等との協力を進め、GNSSの開発及び利用における国際連携、他国のGNSSとの共存性・相互運用性の向上への取組を一層進める。	国際会議参加費及び国際会議に必要な経費（3）の内数	国際会議参加費及び国際会議に必要な経費（5）の内数
省庁計		1	0.3
施策数		2	2

法務省 1施策		平成27年度概算要求額 254百万円	
施 策 名	施 策 の 概 要	平成26年度 当初予算額 (百万円)	平成27年度 概算要求額 (百万円)
衛星測位を利活用したGPS測量推進事業	土地の表示に関する登記等の事務において、衛星測位を活用したGPS測量機器の利用を促進する。	25	254
省庁計		25	254
施策数		1	1

文部科学省 2施策		平成27年度概算要求額 ー	
施 策 名	施 策 の 概 要	平成26年度 当初予算額 (百万円)	平成27年度 概算要求額 (百万円)
衛星航法による航空機精密進入の高信頼化技術に関する研究開発	GNSSの信号は、電離圏異常等の電波障害の影響で一時的に利用できなくなる可能性があることを踏まえ、航空機の安全運航のため、慣性航法装置等の機上装置を用いた補強による高信頼化技術の研究開発を行う。	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金（112,133）の内数	ー
衛星測位を利用した人工衛星等の高精度軌道決定等	衛星測位等を利用して周回衛星等の軌道を高精度で決定するとともに、その精度の向上を図る研究を実施する。	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金（112,133）の内数	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金（128,875）の内数
災害救援航空機に関する情報共有・運航管理技術の研究開発	災害時において、救援航空機と対策本部等との間で、地理空間情報を活用して、災害任務発生状況や各機体の運航状況等の情報を共有化し、より迅速かつ安全な救援活動を実現するための最適運航管理システムの研究開発を進める。	独立行政法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金（112,133）の内数	ー
国際的な宇宙開発利用の進展と人材育成のためのプログラム	競争的資金制度である「宇宙航空科学技術推進委託費」においては、公募・採択等を経て、新たな分野開拓の端緒となる技術的課題への取組を推進するとともに、宇宙開発利用の発展を支える人材育成や宇宙特有の社会的効果を活用した教育等を実施。	宇宙航空科学技術推進委託費（393）の内数	宇宙航空科学技術推進委託費（696）の内数
測位衛星の簡易メッセージ機能の価値を向上させる国際展開可能な防災情報プラットフォームの構築	測位衛星の簡易メッセージ配信による人への避難支援はもとより、車両や防災設備等のモノの制御などの多様なニーズに対応することができる防災情報プラットフォームの構築と検証を行う。	宇宙航空科学技術推進委託費（393）の内数	ー
省庁計		ー	ー
施策数		5	2

農林水産省 3施策		3施策 平成27年度概算要求額 71百万円	
施 策 名	施 策 の 概 要	平成26年度 当初予算額 (百万円)	平成27年度 概算要求額 (百万円)
生産現場強化のための研究開発	ほ場内にオペレータが入ることなく、稲麦大豆作において耕うんから収穫まで、すべてのほ場作業をロボット化する無人機械作業体系を開発する。	委託プロジェクト研究（1,877の内数）	ー
農業環境資源地点情報の整備	土壌、植生、昆虫、土壌微生物等の衛星測位等による採取地点情報の整備を行い、データベース化し、時空間情報として視覚化する手法を開発する。	独立行政法人農業環境技術研究所運営費交付金（2,930）の内数	独立行政法人農業環境技術研究所運営費交付金（2,922）の内数
VMSシステムの運用	大中型まき網漁業等の操業の透明性を確保することにより、漁業調整の円滑化と漁業取締の効率化を図る観点から、VMS（船舶位置監視システム）を運用する。	71	71
操業管理適正化	我が国遠洋漁船の操業秩序確保の観点から、VMS（船舶位置測定システム）を活用した操業位置の監視及び漁獲報告との整合性の確認を行う。	65	ー
農林水産業におけるロボット革命の実現に向けた導入実証事業	ロボット技術など革新的技術の導入により生産性の飛躍的な向上を実現するため、ロボット産業等と連携した導入実証等を支援する。	ー	2,230の内数
省庁計		137	71
施策数		4	3

経済産業省 1施策		平成27年度概算要求額 100百万円	
施 策 名	施 策 の 概 要	平成26年度 当初予算額 (百万円)	平成27年度 概算要求額 (百万円)
NEDO国際研究開発・実証事業	準天頂衛星の高精度測位サービスを活用した実証をアジア/ 太平洋地域で行う。	50	100
	合計額	50	100
	合計 施策数	1	1

国土交通省 8施策		平成27年度概算要求額 815百万円	
施 策 名	施 策 の 概 要	平成26年度 当初予算額 (百万円)	平成27年度 概算要求額 (百万円)
GNSS連続観測システムの確実な運用による地理空間情報の提供	全国の電子基準点において測位衛星（GNSS）の連続観測を行い、そのデータを収集・解析して電子基準点の正確な位置を求め、これらを提供する。また、国際GNSS事業等が実施する国際測地観測等への参加を行う。	594	603
GNSS連続観測システムの高度化	GNSS対応型に更新した電子基準点のデータを地殻変動の検出でも活用するため、データの収集や解析を行うGEONET中央局において、各種GNSSに対応し、地殻変動検出能力を強化した中央局解析システムの整備を進める。	128	169
GNSSによる地殻変動推定における時間分解能向上のための技術開発	GNSS観測において、時々刻々と変化する地殻変動をより細かい時間間隔で捉える技術を開発し、過去の地震や火山活動の発生に至る過程の理解のために、高精度かつ細かい時間分解能で地殻変動を抽出する技術を開発する。	7	7
高度な国土管理のための複数の衛星測位システム（マルチGNSS）による高精度測位技術の開発	準天頂衛星を含む複数の衛星測位システム（マルチGNSS）のデータを統合的に利用し、短時間に高精度な位置情報を取得し、測量等に適用するための技術開発及び標準化を実施。	114	—
高精度測位技術を活用した公共交通システムの高度化に関する技術開発	高精度の位置測位技術を活用した車載器を開発し、得られた位置情報をリアルタイムで交通利用者、交通事業者間で共有するための技術的要件を整理する。	—	34
交通分野における高度な制御・管理システムの総合的な技術開発の推進	鉄道・自動車等の各輸送モードにおける制御・管理システムの技術的要件を整理・検討し、これまで開発されている技術の成果・課題を把握し、他の輸送モードへの応用の可能性を有するものを見出し、これらの輸送モード間で応用・共通化を図るための技術的検討を行う。	29	—
衛星測位を利用した航空交通の安全確保及びサービス向上	運輸多目的衛星（MTSAT）を用いた衛星航法補強システムを運用して、国際民間航空機関（ICAO）基準に準拠したGPS補強情報を提供し、航空交通の安全確保及び効率性を向上する。	空港等維持運営費の内 数	空港等維持運営費の内 数
GPS波浪計による波浪・津波観測の高精度化	GPS波浪計による波浪及び津波観測システムについて、さらに準天頂衛星の測位情報も活用して、より高精度で安定した観測を可能とする改良の検討。	港湾整備事業費 (231, 223) の内数	港湾整備事業費 (268, 427) の内数
衛星測位を利用した海上交通の安全確保	船舶交通の安全確保のため、全国に配置したディファレンシャルGPS局からGPSの補強情報を提供する。	82	41及び航路標識整備事業費（5, 538）の内数
海上保安庁における緊急通報118番（位置情報等）の受付体制	緊急通報118番（位置情報等）の受付体制の運用において衛星測位を利用する。	2	2
	省庁計	956	815
	施策数	9	8

防衛省 1施策		平成27年度概算要求額 一	
施 策 名	施 策 の 概 要	平成26年度 当初予算額 (百万円)	平成27年度 概算要求額 (百万円)
自衛隊による衛星測位の利用	自衛隊の効率的かつ効果的な運用に衛星測位を活用する。	航空機購入費 (398, 953) 艦艇建造費 (198, 249) 武器購入費 (115, 502) 通信機器購入費 (21, 806) の内数	航空機購入費 (720, 176) 艦艇建造費 (230, 942) 武器購入費 (106, 362) 通信機器購入費 (48, 986) の内数
	省庁計	—	—
	施策数	1	1